



<http://www.eidai.com>

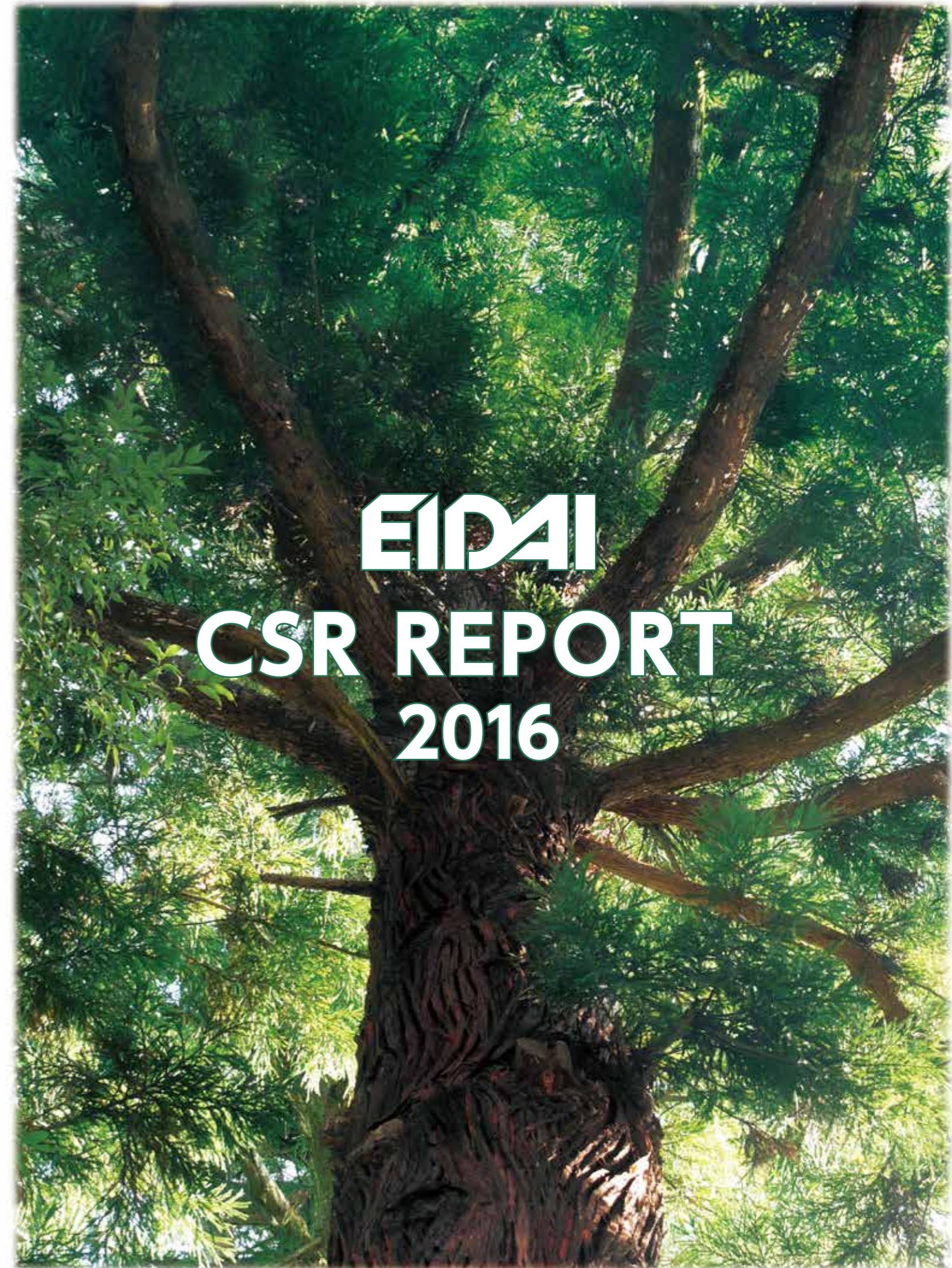
永大産業株式会社

〒559-8658 大阪市住之江区平林南2-10-60 TEL 06-6684-3000(代)

お問い合わせ先：経営企画部 広報課 TEL 06-6684-3062 FAX 06-6684-3068



A661Ze1601dnDN第1版  
2016.1



永大産業株式会社

## CONTENTS

- 1 基本理念
- 2 目次／編集方針
- 3 トップメッセージ
- 5 会社情報
- 7 事業紹介

= 基本理念 =

# 木を活かし、よりよい暮らしを

人は遙か昔から「木」と暮らしをともにし、自然と調和してきました。

しかし物質的な豊かさを求めるあまり環境破壊を引き起こし、真の豊かさとは何かを見失ってしまいました。

私たちは住まいづくりの中で「木」を活かし、よりよい暮らしを実現することこそ、本当の豊かさであると確信しています。それは、この地球で「共に生きる」という思想のもとに、持続可能な社会が確立して初めて可能になると考えています。

**永大産業は、地球・社会・人との共生を通じて豊かで持続可能な社会の実現に貢献する企業であり続けることを目指しています。**



## 企業ビジョン

地球  
との共生

永大産業は、「持続可能な森林の木を使う」「木を無駄なく使う」「木を循環して使う」の3つの循環の輪に沿った事業を展開するとともに、地球環境に配慮した製品を開発することにより、豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

社会  
との共生

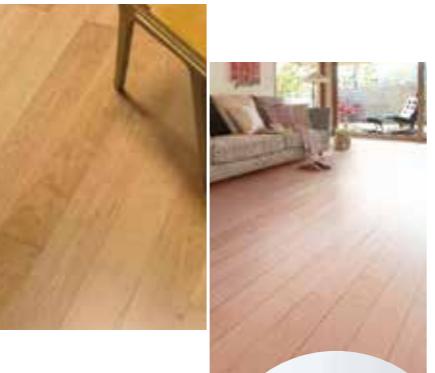
永大産業は、すべての世代の安全と使い勝手に配慮した製品を提供することにより、豊かな住環境を創造します。また、国際社会の一員として国や地域の多様性を尊重し、雇用の確保や製品の提供等を通じて地域社会の発展に貢献します。

人  
との共生

永大産業は、事業を継続して発展させるために人材の育成を図るとともに、多様な人材が活躍できる企業風土を構築します。また、安全、安心な製品を提供することにより、すべての人々の住環境がより豊かで快適なものになることに貢献します。



安心・安全な住まいづくりへの取り組み。  
超高齢社会における住まいを提案します。  
(P9~10)



国産材を活用して環境負荷を低減。  
国産材を活用した製品で、日本の森林の活性化に寄与します。  
(P11~12)



- 9 [社会性] 安心・安全な住まいづくりへの取り組み
- 11 [環境] 国産材を活用して環境負荷を低減



- 13 環境方針
- 14 木を活かした環境保全への取り組み
- 15 地球温暖化防止への取り組み
- 16 リサイクル活動の推進
- 17 化学物質の管理・抑制／原材料調達
- 18 環境マネジメントシステム
- 19 マテリアルバランス／環境会計



- 21 お客様とともに(消費者課題)  
ショールーム お客様相談センター ホームページ
- 22 営業体制 物流体制 品質管理
- 23 地域社会とともに(コミュニティへの参画)
- 24 従業員とともに(労働慣行・人権)



- 25 コンプライアンス／コーポレート・ガバナンス
- 27 リスクマネジメント
- 28 公正な事業慣行

## 編集方針

### 発行の目的

本報告書は、永大産業の環境、社会、企業統治に関する活動を、広く知っていただるために発行しています。

### 報告対象範囲

永大産業株式会社  
一部グループ会社の報告を含みます。

### 対象期間

2014年度(2014年4月～2015年3月)  
の活動を掲載していますが、一部2015年度の取り組みも報告しています。

### 編集方針

編集にあたっては、企業としての社会的責任を明確にし、環境および社会性報告、さらに企業統治の取り組みを詳しく説明することを重視しました。

### 参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン」  
(2012年版)  
一般財団法人日本規格協会  
「ISO26000:2010」

### お問い合わせ先

〒559-8658  
大阪市住之江区平林南2-10-60  
永大産業株式会社  
経営企画部広報課  
TEL 06-6684-3062  
FAX 06-6684-3068

# TOP MESSAGE

## 環境、人に配慮した製品で より一層の社会貢献を目指します

### 国産材活用で環境保全に貢献

2015年は戦後70年という節目にあたり、新聞や雑誌、テレビなどで、わが国の足跡を振り返る特集が目立ちました。戦後の荒廃の中から立ち上ったわが国は、世界第3位の豊かな国となりました。しかし高度成長期の発展と引き換えに、公害や急速に進んだモータリゼーションによって、多くの自然や生命が失われたことは否めない事実です。

現在わが国では、長期にわたり管理されず保水力を失ってしまった森林が増加し、その結果、大規模な土砂災害や河川の氾濫に見舞われるという新たな問題に直面しています。それだけではなく、荒廃した森林は地球温暖化の原因である二酸化炭素を十分吸収することができません。

当社は「木を活かし、よりよい暮らしを」という基本理念のもと、環境保全に取り組んでいます。

その具体的施策として、現在、国産材を活用したフローリングの開発に力を入れています。これは当社の場合、主力製品であるフローリングに木材を多く使用するためで、代表的な製品には、「日本の森活性化フローリング 里床」があります。製品名に日本の森活性化と銘打ったのは、当社の意気込みの表れです。最近発売したいくつかの新製品のフローリング基材の大部分にも国産材を使用しました。

フローリング以外ではパーティクルボードの原材料(木材チップ)にも国産材を積極的に利用しています。昨年度は化粧パーティクルボードで、世界的な森林認証機関「森林管理協議会」のFSC®-CoC認証(FSC C089410)を取得しました。

当社は今後、国産材の使用比率をさらに高め、環境保全への取り組みを継続してまいります。

### 安全で安心できる住まいづくりを追求

わが国の抱える問題は環境以外にもたくさんあります。とりわけ住宅業界では、世界に類を見ない「超高齢社会」が進む中、加齢に伴い身体機能の低下を余儀なくされる高齢者とその家族が、快適で、安心して暮らせる住まいづくりが大きな課題となっています。

わが国の人口問題をひととく、すでに1970年の段階で高齢化率(65歳以上の高齢者の総人口に占める割合)は7.1%に達し、わが国は国連が定義する「高齢化社会」となりました。それが1994年には高齢化率が14%を超え、「高齢化社会」の次の段階である「高齢社会」になりました。さらに、そのわずか13年後の2007年には、高齢化率が21%を超えて「超高齢社会」に突入しました。現在の高齢化率は25%を超え、4人に1人が高齢者という状況ですが、近い将来、3人に1人が高齢者になると予想されています。

このような急激な高齢化に対し、当社では屋内での転倒時に衝撃を和らげる木質フローリング「セーフケアダイレクト」をはじめ、居住者の安全性に配慮した室内ドア、収納、システムキッチン、洗面化粧台などの「セーフケアプラス」製品群を開発しました。お客様に「セーフケアプラス」製品群の機能を直接確かめていただこうと、昨年、堺市の大阪事業所内に体感型ショールーム「大阪ファクトリーギャラリー」を開設しました。「大阪ファクトリーギャラリー」では一般住宅にお住まいのお客様はもちろん、サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)や介護保険施設等の事業者様向けに、当社製品を組み合わせたルーム提案を行っています。

当社は安全で、なおかつ安心して使えるモノづくりを目指しており、その姿勢を貫くことが住宅資材メーカーである当社の社会的使命であると考えています。

### 再生可能エネルギーへの取り組み

東日本大震災以降、原子力発電に代えて火力発電の比重が高まった結果、わが国の温室効果ガス削減の取り組みは、実質的に後退しました。しかし国はこのほど気候変動枠組条約の実現に向けエネルギー戦略を抜本的に見直し、今年の7月、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で26%減少させるとの意向を固めました。この中で国は、火力発電の比率を2013年度の73%(LNG、石炭)から2030年に53%(同)まで下げるとともに、再生可能エネルギーについては、11%から22~24%まで伸ばす計画を明らかにしました。

当社が業界に先駆けて再生可能エネルギーの創出に取り組んだのは、今から20年以上前の1993年です。山口・平生事業所でパーティクルボードの生産に不向きな木材チップを用い、バイオマス発電を始めました。2014年3月には、同事業所に太陽光発電設備を設置し、さらに2015年10月には大阪事業所でも同様の太陽光発電設備が稼働しました。

当社はメーカーとしてものづくりに専念するだけではなく、エネルギーの創出とその利用についても効率化を図ってまいりました。今後も世の中に役立つ製品づくりに注力するとともに、省エネルギー、創エネエネルギー、蓄エネエネルギーを推進することで、社会への貢献を目指してまいります。

代表取締役社長  
大道正人



# 会社情報

## 会社概要

社名 永大産業株式会社(Eidai Co., Ltd.)  
創業 1946年7月29日  
本社所在地 大阪市住之江区平林南2丁目10番60号  
資本金 32億8530万円(2015年9月末日現在)  
従業員数 956名(2015年9月末日現在)  
事業内容 住宅資材および木質ボードの製造・販売  
上場 東京証券取引所 市場第一部(証券コード:7822)



本社

### 営業拠点

札幌、青森、盛岡、仙台、山形、福島、新潟、宇都宮、茨城、群馬、埼玉、千葉、柏、東京(新宿、東上野、立川)、相模原、横浜、山梨、長野、金沢、静岡、名古屋、三重、京都、大阪(梅田、住之江)、神戸、姫路、岡山、広島、米子、山口、高松、松山、北九州、福岡、長崎、熊本、鹿児島、沖縄

### ショールーム

札幌、仙台、新宿、立川、横浜、新潟、宇都宮、金沢、静岡、名古屋、京都、梅田、姫路、岡山、広島、高松、博多、沖縄、大阪ファクトリーギャラリー

### 製造拠点

- 大阪事業所(堺市西区・美原区)  
室内ドア・造作材・クロゼット・システム収納・シーブボックス・システムキッチン
- 敦賀事業所(福井県敦賀市)  
フローリング・一体型床暖房・室内階段・パーティクルボード
- 山口・平生事業所(山口県熊毛郡平生町)  
フローリング・パーティクルボード

### グループ会社

- 永大小名浜株式会社(福島県いわき市)  
室内ドア・クロゼット・造作材・パーティクルボード
- Eidai Vietnam Co.,Ltd.(ベトナム国ハナム省)  
フローリング
- 永大テクノサポート株式会社(大阪市)  
業務請負
- 永大スタッフサービス株式会社(大阪市)  
人材派遣
- エヌ・アンド・イー株式会社(徳島県小松島市)  
MDF

## 株式情報

発行可能株式総数 160,000,000株  
発行済株式の総数 46,783,800株  
株主数 2,875名

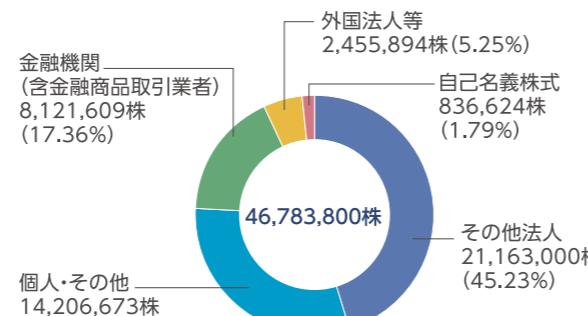
### 大株主

永大産業取引先持株会	3,199千株	6.96%
住友林業株式会社	2,306千株	5.02%
大日本印刷株式会社	2,237千株	4.87%
すてきナイスグループ株式会社	1,960千株	4.27%
永大産業従業員持株会	1,819千株	3.96%
株式会社りそな銀行	1,640千株	3.57%
トヨーマテリア株式会社	1,550千株	3.37%
双日建材株式会社	1,349千株	2.94%
JKホールディングス株式会社	1,100千株	2.39%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,051千株	2.29%

(注)持株比率は自己株式(836,624株)を控除して計算しております。

2015年9月末日現在

### 所有者別株式分布状況



### 主な販売先

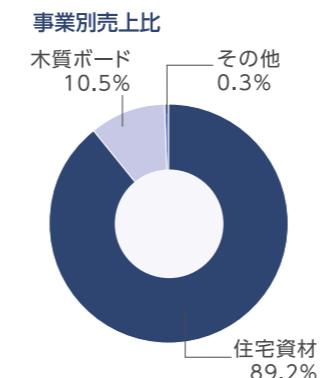
住友林業株式会社、三井住商建材株式会社、  
トヨーマテリア株式会社

### 主な仕入先

トヨーマテリア株式会社、大日本印刷株式会社、住友林業株式会社

2015年9月末日現在

## 財務ハイライト(連結)



### 住宅資材事業

- ・建材分野
- ・内装システム分野
- ・住設分野

### 木質ボード事業

- ・パーティクルボード分野

### その他事業

- ・不動産有効活用事業
- ・環境事業(アスベスト処理事業)
- ・太陽光発電事業

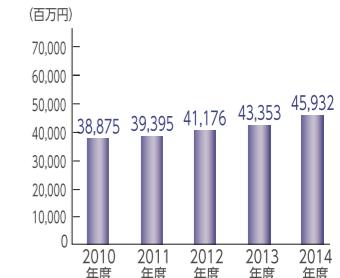
### 当期純利益



### 総資産



### 純資産

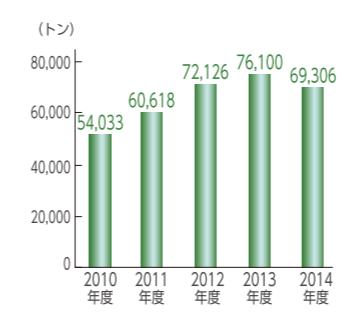


## ESGハイライト(単体)

### E 環境報告 ENVIRONMENTAL REPORT

当社は、可能な限り温室効果ガスを抑制するとともに、再生可能エネルギー(バイオマス発電、太陽光発電)の創出に努めています。

### 温室効果ガス排出量\*



### 再生可能エネルギー発電量



### 女性の育児休業取得率



### S 社会性報告 SOCIAL REPORT

当社は働きやすい職場づくりを目指しています。女性社員の育児休業取得率は、2010年度以降の過去5年間で、平均92.5%でした。

### G コーポレート・ガバナンス CORPORATE GOVERNANCE

当社はさらに透明性の高い経営を行います。女性社員の育児休業取得率は、2010年度以降の過去5年間で、平均92.5%でした。

### 取締役・社外取締役／監査役・社外監査役



\*環境省は、二酸化炭素のほかにメタンや一酸化二窒素など計6種類の物質を、温室効果ガスに定めていますが、当社が排出する温室効果ガスは二酸化炭素1種類のみです。

# 事業紹介

## より豊かな住まいづくりを目指しています

永大産業では、自然素材である木を活かし、暮らしに役立つ様々な製品を開発、供給することで、より豊かな住まいづくりの実現を目指しています。

### システムキッチン・サニタリー・バス

美しく機能性に富む水まわり製品を供給しています。

家族にとって「心地よい」空間を第一に、LDKとの一体感を追求したキッチンなど、快適で機能性に優れた水まわり製品を提供しています。

住設事業部

取扱製品  
システムキッチン、洗面化粧台、システムバス



### フローリング・室内階段

素材を厳選し、環境等に配慮した製品を開発しています。

適正に管理された植林木などの森林資源を活用し、一般住宅向けのフローリングや中高層住宅向けの遮音フローリング、床暖房、室内階段などの製品を開発、生産しています。安心・安全で高品質、施工性に優れた製品を品揃えしています。

建材事業部

取扱製品  
フローリング、室内階段、室内階段廻り部材、床暖房、壁材、エクステリア部材



### 室内ドア・造作材・収納

最先端のデザインを製品に反映させるとともに、短納期を実現しています。

最新のデザインを反映させた室内ドアやクロゼット、シューズボックスなどの製品を生産しています。また、シニア世代に配慮した使いやすい製品を開発するとともに、見積りから納品まで一貫したシステムにより、短納期を実現しています。

内装システム  
事業部

取扱製品  
室内ドア、造作材、カウンター、クロゼット、シューズボックス、システム収納



### パーティクルボード

不用になった木質製品と未利用材を活用し、木材資源の有効利用を推進しています。

不用になった木質製品のマテリアルリサイクルを行い、炭素を固定化することで二酸化炭素の発生を抑制し、環境保全に寄与しています。さらに超低ホルムパーティクルボードの生産も行っています。

パーティクルボード  
事業部

取扱製品  
パーティクルボード



**POINT** 当社の化粧パーティクルボードは、表面にリサイクル可能なシートを用いていますので、長年使用した後、パーティクルボードの原材料として再生利用できます。

その他事業  
当社はその他事業として、所有不動産の有効活用事業を進める一方、アスベスト処理事業や太陽光発電事業にも取り組んでいます。

#### 太陽光発電事業

山口・平生事業所に続き、2015年10月からは大阪事業所でも太陽光発電設備が稼働し、売電を始めました。



#### 環境事業(アスベスト処理事業)

アスベストの処理薬剤を自社で開発し、作業現場における調査、工事、管理までを一貫して行っています。



#### 不動産有効活用事業

当社が所有する不動産を活用し、賃貸マンションなどに展開しています。



# Topics 1

社会性

## 安心・安全な住まいづくりへの取り組み

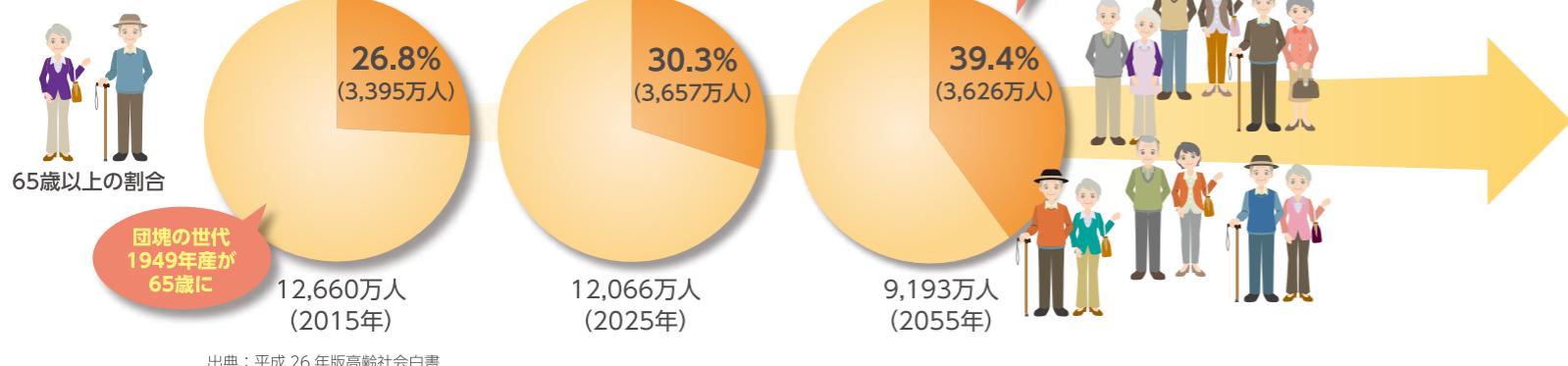
超高齢社会における住まいを提案します。

### わが国の抱える問題

わが国では急速な高齢化の進行により、シニア世代とその家族にとって、安心・安全でなおかつ快適な住まいは、質、量ともまだまだ十分とはいえないのが現状です。

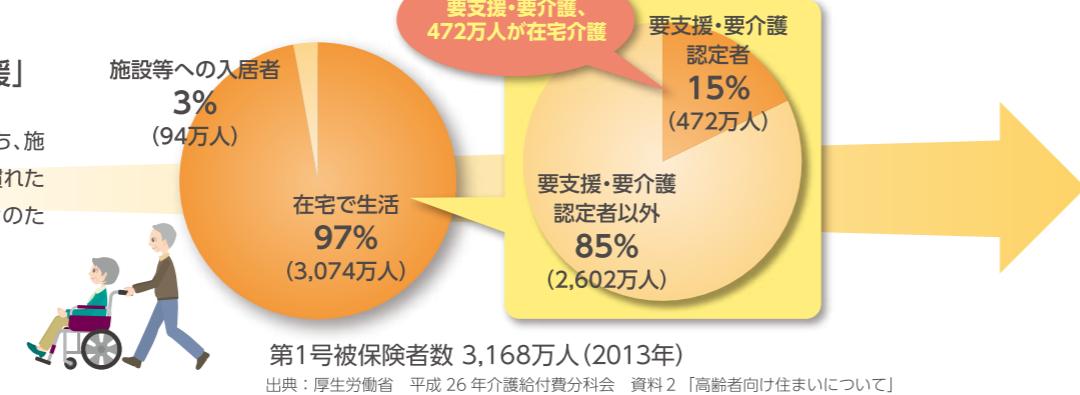
#### 歯止めの効かない高齢化

65歳以上の高齢者が全人口に占める割合は年々増え続けており、2025年には人口の3人に1人が、また、2055年には2.5人に1人が65歳以上の高齢者で占められると予想されています。



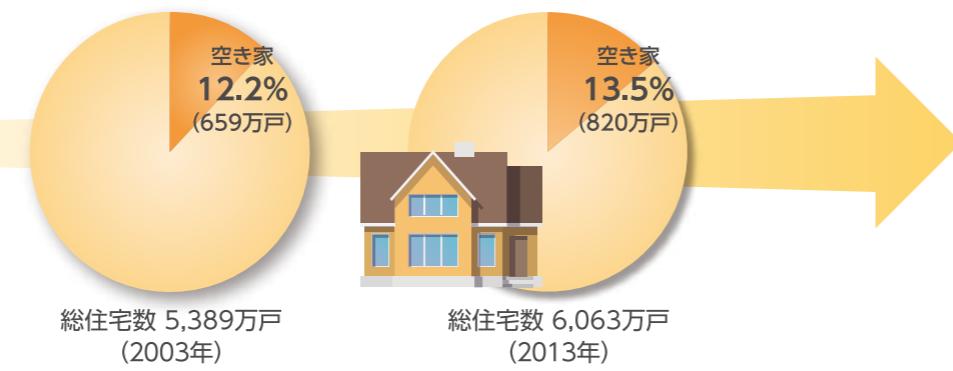
#### 増え続ける在宅での「要介護・要支援」

第1号被保険者（65歳以上の介護保険被保険者）のうち、施設への入所者は3%に過ぎません。在宅すなわち住み慣れた我が家で生活する「要介護・要支援」を必要とする方々のための住まいづくりが急務となっています。

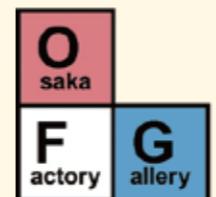


#### 高齢化に伴う空き家問題

わが国の総住宅数6063万戸に対する空き家数は820万戸（空き家率13.5%）に達しています。空き家となる原因の中には、たとえば家を相続したものの高齢により管理できない、住むためには手を加えねばならないなどの理由も見受けられます。



### 永大産業の取り組み



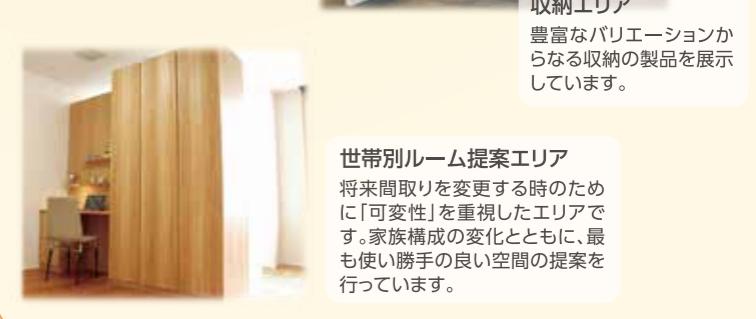
大阪  
ファクトリー  
ギャラリー

2015年7月 拡張

永大産業では、シニア世代だけでなくその家族にとって、安心・安全でおかつ快適な住まいづくりを目指しています。当社最大規模のショールーム「大阪ファクトリーギャラリー」ではサ高住の内部をリアルサイズで展示し、製品の機能や特長を体感できるようにしています。2015年7月には展示スペースを拡張して、一般住宅向けの空間提案を開始しました。



サービス付き高齢者向け住宅エリア  
実物大のサービス付き高齢者向け住宅を再現しています。



#### サ高住・シニア施設への提案

サービス付き高齢者向けをはじめ、住宅介護老人保健施設などに対応した製品については、実物大のルーム展示を行って、製品の特長や機能を実際に確かめられるようにしています。

#### 一般住宅への提案

要支援・要介護の認定者の多くが特別な施設ではなく、一般的な住宅にお住まいであることから、一般住宅を対象に開発した使い勝手のよい製品の数々を展示しています。

#### ストック需要への提案

ライフスタイルが変化しても、引き続き快適に過ごせるよう、部屋の間取りを間仕切りで変更するための様々な空間提案を行っています。

# Topics 2 環境

# 国産材を活用して環境負荷を低減

国産材を活用した製品で、日本の森林の活性化に寄与します

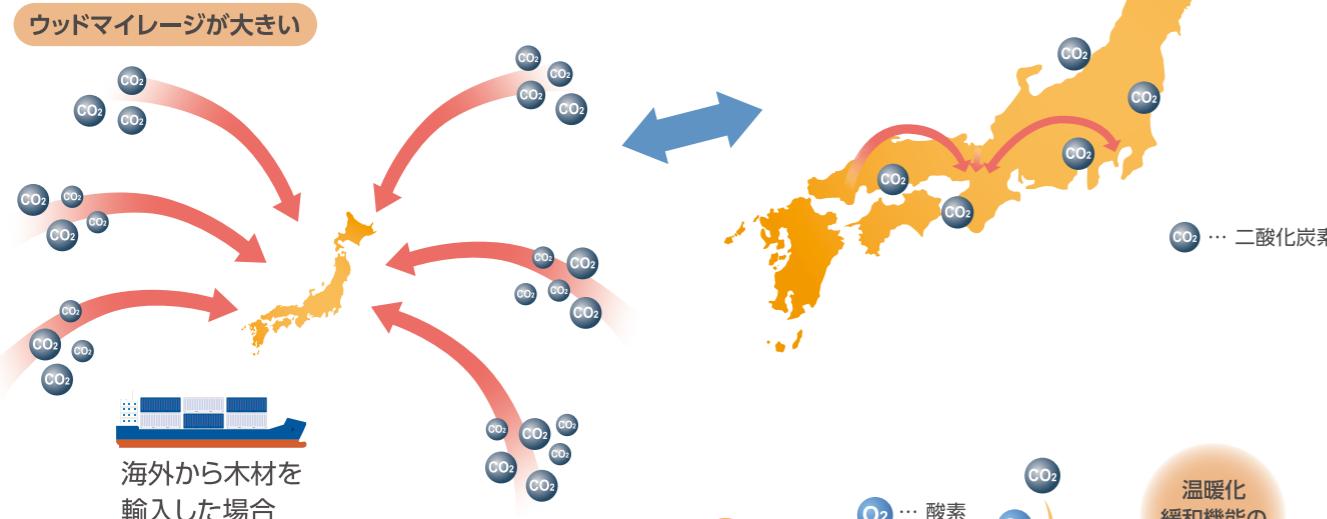
# わが国の抱える問題

戦後わが国は、コストが安く大径の木材を入手しやすいという理由から、木材資源の海外依存を強めていきました。しかし輸送距離が長くなるにつれて、化石燃料の消費による二酸化炭素が増加し、地

球温暖化の一因となっています。加えて国内林業の衰退により、放置された森林の保水力が低下した結果、大規模な河川の氾濫や土砂災害を招いています。

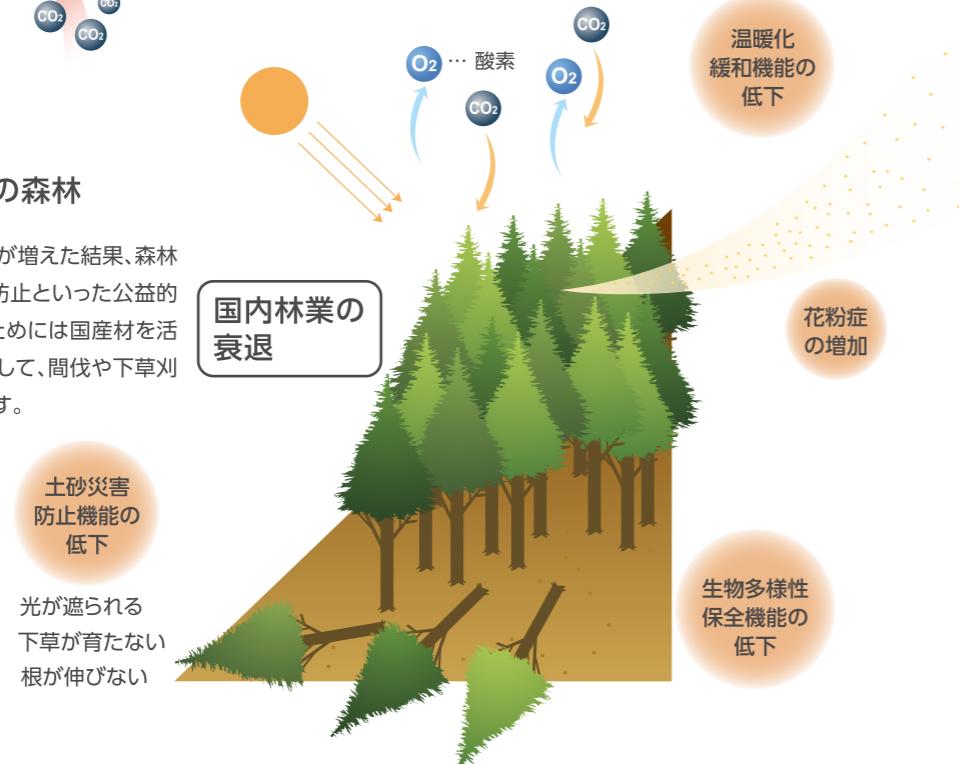
環境への負荷は輸送距離に比例して増大

木材を船やトラックなどで運ぶ際、輸送距離が長くなると化石燃料を多く消費する結果となり、環境への負荷が大きくなります。この環境への負荷を「見える化」するため、木材の量と輸送距離を乗じたものをウッドマイレージと呼んでいます。ウッドマイレージを小さくするには、可能な限り生産地に近いエリアで木材を消費することが望まれます。



## 公益的機能が低下したわが国の森林

わが国では、活用されなくなり放置された森林が増えた結果、森林が本来持っている二酸化炭素吸収、土砂流出防止といった公益的機能が低下しています。森林を活性化させるためには国産材を活用し、それによって得られた利益を森林に還元して、間伐や下草刈りなどを促進する仕組みづくりが重要になります。



## 永大産業の取り組み

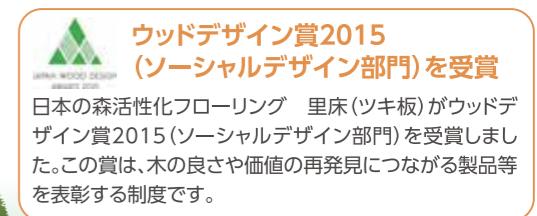
永大産業では主力製品であるフローリングのほか、パーティクルボードの原材料に国産材を活用しています。この取り組みを今後も継続的に行うことで、森林の活性化に貢献していく考えです。

独自の技術でフローリングに活用

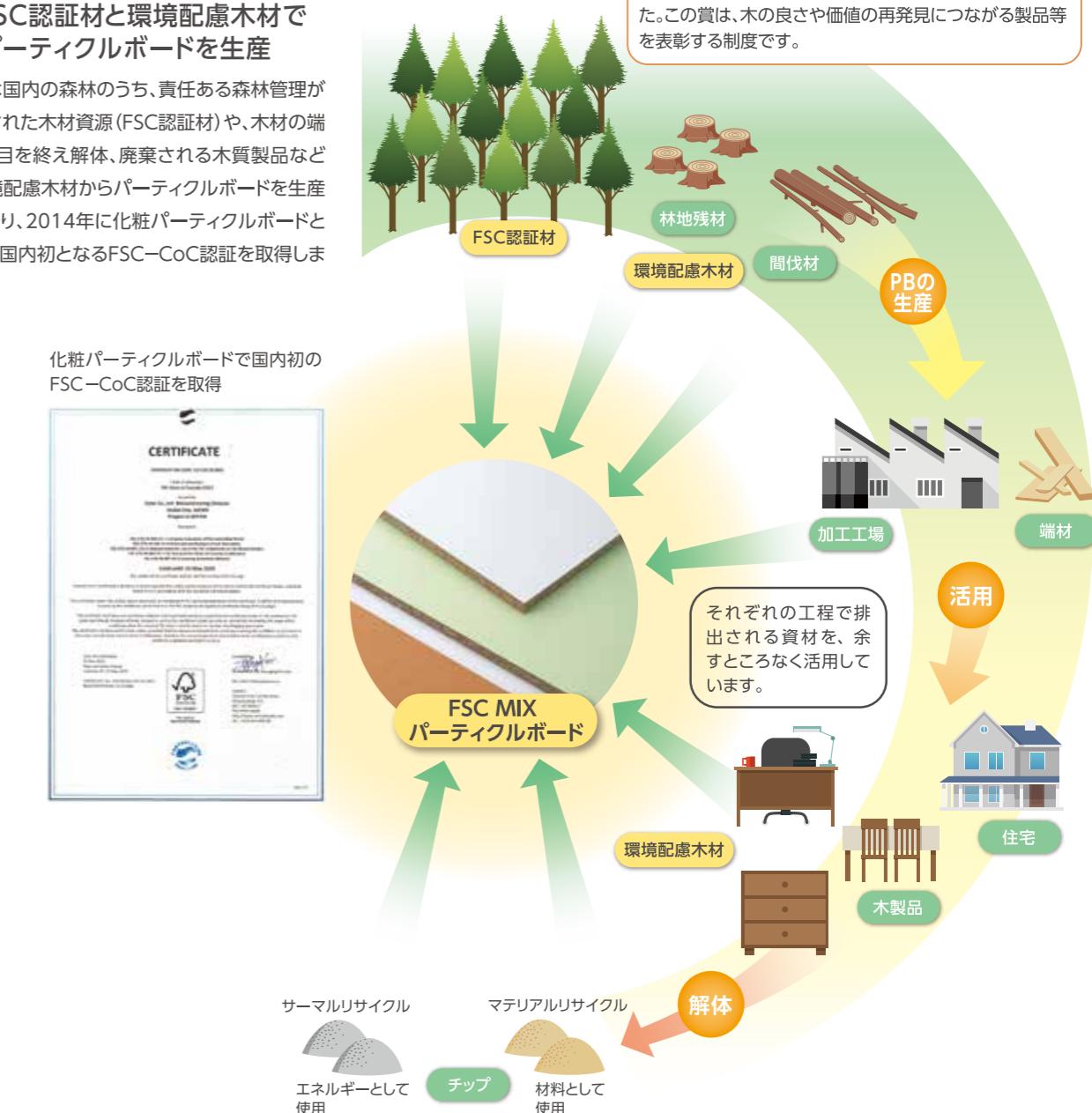
当社は木材特有の反りや狂いを抑える独自の形状安定化処理技術などを応用し、国産材を利用したフローリングの開発に力を入れています。さらにフローリングの基材(フロア台板)を南洋材から国産材に切り替える取り組みを推進しています。当社はまた、フローリングの生産に関してFSC®-CoC認証(FSC C089410)、PEFC-CoC認証を取得しています。



日本の森活性化フローリング 里床(ツキ板)



ザイン賞2015(ソーシャルデザイン部門)を受賞しました。この賞は、木の良さや価値の再発見につながる製品等を表彰する制度です。



## 環境方針

永大産業では、環境に配慮し、持続可能な社会の実現に寄与するため、環境方針を定めています。当社の環境方針は「基本方針」と「行動指針」から構成され、「行動指針」には、とくに注力すべき具体的活動の内容について明示しています。

### = 基本方針 =

**永大産業は、地球、社会、人との共生を通じて、環境保全に取り組み、なお一層の社会貢献を目指します。**

### 行動指針

#### 1 企業活動

##### 1 温室効果ガス削減

エネルギー、水資源を有効に活用し、温室効果ガス排出量の削減に努めます。

##### 2 3Rの推進

Reduce(発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再利用)の3Rを推進し、循環型社会の発展に寄与します。

##### 3 化学物質の管理・抑制

管理基準を設定し、環境負荷の大きな物質の使用・排出を抑制します。

##### 4 環境に配慮した木材調達

森林認証材、中でも植林木を積極的に採用し、環境に配慮した資材の比率を高めます。

#### 2 社会的責任

法令を遵守し、地域との連携を深め、広く社会から評価される企業を目指します。

#### 3 情報の開示

企業活動に関する情報は隨時、開示します。

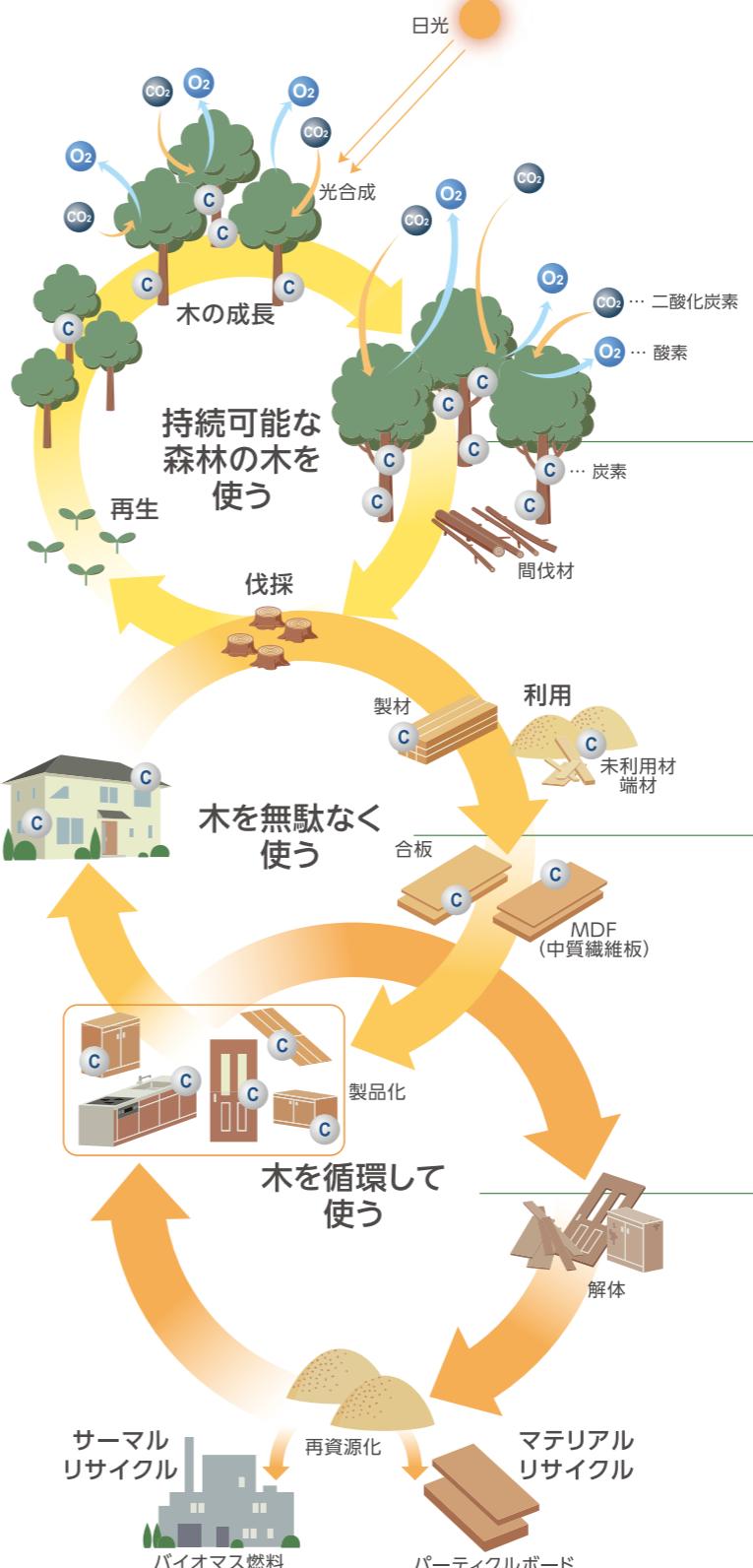


## 木を活かした環境保全への取り組み

「木」は地球にやさしい資源です  
永大産業は、木を活かした循環の輪を広げていきます

「木」は再生できる地球にやさしい資源です。「木」の有効利用を図るには、「持続可能な森林の木を使う」「木を無駄なく使う」「木を循環させて使う」ことが重要です。当社はこの「3つの循環の輪」に沿って事業を展開することにより、なお一層、地球環境の保全に取り組んでいきたいと考えています。

### 木を活かした3つの循環の輪



### 年間12万トンの炭素を固定

低炭素社会の構築には、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)の抑制が重要です。循環可能な生物資源である木は、大気中のCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)を取り込んで、C(炭素)を固定しながら成長していきます。しかし、自然に木が枯れると、固定されていたC(炭素)がO<sub>2</sub>(酸素)と結びつき、再びCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)となって排出されてしまいます。

このような木のもつ働きに着目して、住宅に多く木製品を使用すれば、それだけ長期間にわたり固定できるC(炭素)の量も増えることになります。

永大産業は環境配慮木材を用いた木製品の供給を通じて、12万トン(2014年度)の炭素を固定しました。これは44万トンの二酸化炭素の排出を抑制したことになります。

### 持続可能な森林の木を使う

貴重な森林資源を継続的に利用するため、永大産業は製品の原材料に、森林認証材や間伐材、適切に管理された植林木などを積極的に採用しています。当社は持続可能な森林の木を使うことにより、森林環境の保護に貢献しています。

### 木を無駄なく使う

木材資源を無駄なく利用するため、永大産業は未利用材や木製品の生産工程で生じる端材を、木質ボードの原材料に活用しています。またこの木質ボードを用いて製品化を行っています。

### 木を循環させて使う

不用になった木質製品を再資源化するため、永大産業ではこのような製品から木質ボードを生産し、さらにその木質ボードを利用して製品を生産しています。また、バイオマス燃料に利用して、再生可能エネルギーを創出しています。

# 地球温暖化防止への取り組み

温室効果ガス削減に努めます



## ○ 温室効果ガス、基準年度比で18%削減

温室効果ガスの排出量は前年度実績を下回り、2014年度は前年度比9%減となりました。全体の生産量が減少したことにより、温室効果ガス排出係数も下がったことが、その主な原因です。なお、基準年度の2006年度比では18%の削減となりました。

### 温室効果ガス排出量 推移一覧表

部門	基準年度 2006年度	2013年度	2014年度	前年度比	基準年度比
	2,086	4,418	4,511	+2%	+116%
製造	23,350	27,990	24,607	-12%	+5%
	33,376	20,902	19,261	-8%	-42%
	58,812	53,310	48,379	-9%	-18%
物流	22,115	19,891	18,100	-9%	-18%
営業	2,041	1,483	1,373	-7%	-33%
本社	1,200	1,416	1,454	+3%	+21%
合計	84,168	76,100	69,306	-9%	-18%

### 製造部門別の電力使用量と温室効果ガス排出量

当社では電力使用による温室効果ガスの排出量を、各電力会社が年度ごとに発表する「実排出係数」を用いて算出しています。2014年度は管内の3電力会社の「実排出係数」のうち、2電力会社の数値が前年度に比べ小さくなりました。また当社の生産量が減少したことや省エネ活動により、製造部門の電力の使用量は前年度比5%減となり、温室効果ガスの排出量も同8%減となりました。

部門	種別	基準年度 2006年度	2013年度	2014年度	前年度比	基準年度比
	電力使用量	5,499	8,327	8,363	0%	+52%
大阪	排出係数	0.358	0.514	0.522		
	排出量	1,969	4,280	4,365	+2%	+122%
	電力使用量	37,502	32,352	30,077	-7%	-20%
敦賀	排出係数	0.407	0.663	0.630		
	排出量	15,080	21,449	18,949	-12%	+26%
	電力使用量	30,676	20,317	19,734	-3%	-36%
山口	排出係数	0.668	0.738	0.719		
	排出量	20,491	14,994	14,189	-5%	-31%
	電力使用量合計	73,677	60,996	58,174	-5%	-21%
電力使用量合計	37,540	40,723	37,503	-8%	0%	

※温室効果ガスを算出するにあたり、電力の換算係数は2006年度、2013年度、2014年度とも管内電力会社の実排出係数を利用

単位／(電力使用量:kwh) (排出係数:t-CO<sub>2</sub>/kwh) (排出量:t-CO<sub>2</sub>)

#### 実排出係数

電力事業者の活動(発電)に伴って排出される温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)を算定するために用いる係数をいう。電力事業者が火力、水力、原子力などの発電方法のうち、年度ごとにどのような比率で発電しているかによって、係数の値も変わること。

#### 調整後排出係数

電力事業者が、国や団体が行っている温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の排出量取引などに基づき排出量を購入することで、実排出係数から一定量の排出量を控除した係数をいう。



# リサイクル活動の推進



木を活かし、リサイクル活動を展開しています

## マテリアルリサイクル 「パーティクルボード」

## ○ 循環型社会の形成に貢献する製品 「パーティクルボード」を生産しています

焼却、腐朽しない限り炭素を固定し続ける木の特性に着目し、永大産業は木のマテリアルリサイクル(再生利用)に力を入れています。当社は使用されなくなった木質製品等を原材料に、パーティクルボードを生産して循環型社会の形成に貢献しています。なお、当社のパーティクルボードと化粧パーティクルボードは、いずれもマテリアルリサイクル可能な製品です。



## サーマルリサイクル 「バイオマス発電／バイオマスボイラー」

## ○ 生産に使用するエネルギーの一部を 再生可能エネルギーで賄っています

環境への負荷が低い再生可能エネルギーとして、バイオマス発電が注目されるなか、山口・平生事業所では、1993年からバイオマス発電設備によるエネルギーの有効利用に取り組み、2014年度は同事業所で使用する全電力の約24%をバイオマス発電で賄いました。また、敦賀事業所や山口・平生事業所ではパーティクルボード生産に必要な蒸気エネルギーの一部を、バイオマスボイラーから得ています。



バイオマス発電設備(山口・平生事業所)

## TOPICS

### コンプレッサーで 電力使用量を削減

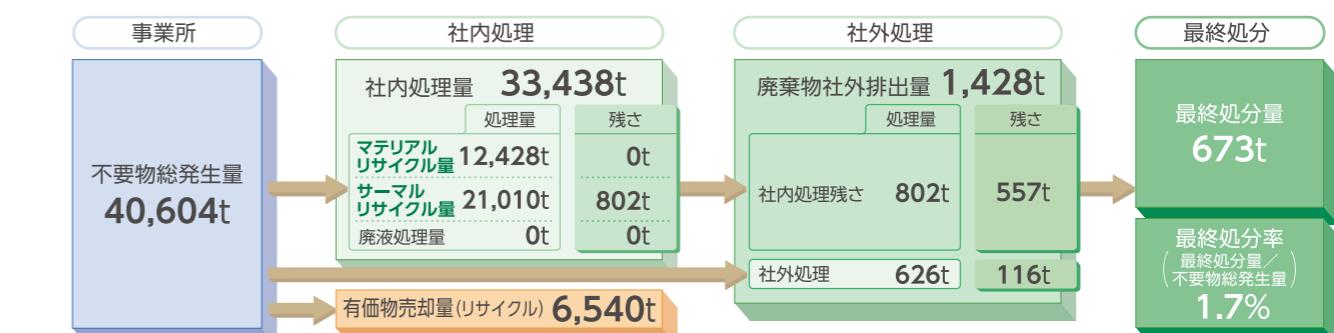
敦賀事業所では2014年度に蒸気駆動式コンプレッサーを導入しました。このコンプレッサーは、ボイラーによる蒸気圧を減圧する時に生じるエネルギーを動力源とし、電気式コンプレッサーのみを使用していた頃に比べ、半年間で約50,000kwhの電力削減を実現しました。



## 産業廃棄物削減への取り組み

## ○ ゼロエミッション

永大産業では、資源の有効活用を図り、再資源化に努めることによって、環境負荷の低減に取り組んでいます。



### 社内処理と分別活動に力を入れています

当社では最終処分率を可能な限り引き下げるため、社内処理に力を入れています。事業所で発生する不要物のほとんどは、生産活動によって排出される木くず等であり、それらはマテリアルリサイクル、またはサーマルリサイクルによる社内処理を行います。その過程で出た残さについては社外で適正に処理しています。この結果、2014年度の最終処分率は1.7%となりました。

#### 用語解説

#### 実排出係数

電力事業者の活動(発電)に伴って排出される温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)を算定するために用いる係数をいう。電力事業者が火力、水力、原子力などの発電方法のうち、年度ごとにどのような比率で発電しているかによって、係数の値も変わること。

#### 調整後排出係数

電力事業者が、国や団体が行っている温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の排出量取引などに基づき排出量を購入することで、実排出係数から一定量の排出量を控除した係数をいう。

#### 用語解説

#### ゼロエミッション

「ゼロエミッション(Zero Emission)」とは、使用する資源を最小限にとどめ、なおかつ事業活動を通じて排出される廃棄物などを再資源化して活用し、全体として廃棄物を出さない生産のあり方をいう。製造業では一般に最終処分率2%以下が目安。

# 化学物質の管理・抑制

安全性の高い接着剤や塗料を使用しています

## 低ホルムアルデヒドへの取り組み



シックハウス症候群や、化学物質過敏症を引き起こさない安全な製品づくりを目指し、永大産業の製品はホルムアルデヒド発散等級の最上位規格(F☆☆☆☆)を取得しています。



## 低VOCへの取り組み



当社は厚生労働省が定めている室内濃度指針における指定13物質に対して、自主基準を定め、安全データシート(SDS)や小型チャンバーによる測定で、VOCが基準値以下であることを確認しています。



# 原材料調達

環境や健康に配慮し、製品の品質向上につながる原材料を調達します

## フローリング原材料調達指針を策定

当社はフローリングメーカーの責務として、原材料の環境への配慮にとどまらず、ユーザーの健康や製品の品質向上等につながることを目的とし、2013年6月、フローリング原材料調達指針を策定しました。



### 以下の原材料の調達に努めます

#### 木材資源

- 森林認証材および同等の森林管理がなされている木材
- 国土の保全や林業の活性化に寄与する国産材
- 廃木材、未利用材、二次利用材、端材
- 環境保全や森林資源の維持に貢献する木材

#### 塗料・接着剤等

- 健康に配慮した環境負荷の低い材料、またはその材料の開発
- 品質において高い性能を発揮できる材料、またはその材料の開発
- 高い意匠性が発揮できる材料、またはその材料の開発

3  
樹脂

## 4VOC基準適合の自主表示を実施

### 4 VOC 基準適合 (木質建材)

空気汚染を引き起こすVOC(Volatile Organic Compound:揮発性有機化合物)のうち、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4VOCについては、「4VOC基準適合」(木質建材)の自主表示を実施し、その情報を製品カタログ等でご案内しています。



## SDS制度への対応

SDS(Safety Data Sheet=安全データシート)制度とは、指定化学物質及びそれを含有する製品を他の事業者に譲渡、提供する際、その性状及び取り扱いに関する情報の提供を義務付ける制度です。対象となる562の化学物質のうち、当社では接着剤や塗料メーカーからのSDSを一元的に管理しています。またその提出先をデータベース化して、常に把握できる体制を構築しています。



4  
樹木

# 環境マネジメントシステム

ISO14001に基づいて、環境負荷低減を推進しています

## 環境保全運動の取り組み

永大産業グループでは、環境マネジメントシステム(Environmental Management System)の国際規格ISO14001を遵守し、生産活動における環境負荷のさらなる低減に取り組んでいます。



### 大阪事業所



- 認証取得日：2003年10月31日
- 適用規格：JISQ 14001:2004 / ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E094
- 製品
  - 室内ドア
  - クロゼット
  - システム収納・作成材
  - シューズボックス
  - システムキッチン
- 住所：堺市西区・美原区

### 敦賀事業所



- 認証取得日：2000年2月29日
- 適用規格：JISQ 14001:2004 / ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E094
- 製品
  - フローリング
  - 床暖房
  - 室内階段
  - パーティクルボード
- 住所：福井県敦賀市

### 山口・平生事業所



- 認証取得日：2001年12月20日
- 適用規格：JISQ 14001:2004 / ISO 14001:2004
- 登録番号：JMAQA-E094
- 製品
  - フローリング
  - パーティクルボード
- 住所：山口県熊毛郡平生町

### グループ会社

#### 永大小名浜株式会社



- 認証取得日：2006年3月25日
- 適用規格：JISQ14001:2004/ISO14001:2004
- 登録番号：RE0466
- 製品
  - 室内ドア
  - クロゼット
  - 作成材
  - パーティクルボード
- 住所：福島県いわき市

#### エヌ・アンド・イー株式会社



- 認証取得日：2012年4月28日
- 適用規格：JISQ14001:2004/ISO14001:2004
- 登録番号：RE0659
- 製品
  - MDF
- 住所：徳島県小松島市

# マテリアルバランス 環境会計

MATERIAL BALANCE

## マテリアルバランス

エネルギー、水、資材(INPUT)と製品や廃棄物の量をマテリアルバランスといいます。当社は投入する資源を有効に活用して製品を生産し、温室効果ガスや廃棄物等の抑制に努めています。



用語解説

PRTR  
対象物質

大気中に拡散、あるいは事業所の外に運び出される量を管理し、公表しなければならない化学物質。

## お客様とともに

お客様からのお質問やご相談にお応えする「お客様相談センター」や、実際に製品をお確かめいただけるショールームを設置しています。

### ショールーム

#### ショールームを新規に開設

永大産業では北海道から沖縄まで全国にショールームを設置し、お客様のニーズに合わせた住まいづくりをご提案しています。2015年3月には全国18番目となる「姫路ショールーム」を開設しました。



#### ショールームにAEDを設置

当社ではお客様の万が一に備え、主要なショールームに救急救命用のAED(自動体外式除細動器)を設置しています。



### ホームページ

ホームページについては随時更新し、住まいに役立つ最新の情報を提供しています。一般のお客様には、動画を用いて当社製品の特長をご説明するとともに、メンテナンスの方法についてもわかりやすく解説しています。またプロユーチャー様には、製品のスペックや画像、施工・取扱い説明書などのほか、提案書作成に必要な情報をご用意しています。

<http://www.eidai.com>



### お客様相談センター

「お客様相談センター」では、専門のスタッフがお客様のご相談に対して、迅速かつ丁寧に対応しています。また、当センターではご相談いただいた内容を分析して業務改善につなげ、より一層、顧客満足の向上を図るとともに、ご要望を取り入れた製品に改良していくための情報を社内に発信しています。

0120-685-110

受付時間 平日9:00~19:00 土 9:00~18:00  
休業日 年末年始・日祝  
E-mail cs@eidai-sangyo.co.jp

## 営業体制

### 全国に広がるネットワークでお客様をサポート

全国に41の営業拠点を設け、お客様の住まいづくりをトータルにサポートしています。



## 物流体制

### 全国の物流網で迅速、確実に製品を配送

全国10ヵ所に物流拠点を設けています。お客様のご要望にあわせ、迅速・確実に製品をお届けしています。



## 品質管理

### 顧客満足度の高い製品づくりを目指しています

お客様に安心・安全な製品をご提供するため、顧客満足度の高い製品づくりを目指しています。品質マネジメントシステムに基づいて品質の改善に努めるとともに、工場見学会を開催して、製造の現場をご紹介しています。

### 継続的な改善に取り組んでいます

お客様に安心してお使いいただける製品をご提供するため、品質マネジメントシステム(Quality Management System)の国際規格であるISO9001を全ての事業所で取得し、継続的な改善に取り組んでいます。

生産拠点	取得年月	番号
大阪事業所	2001年8月	
敦賀事業所	2001年7月	JMAQA-1090
山口・平生事業所	2005年4月	



### 工場見学会を実施

当社の製品づくりの姿勢をお客様にご理解いただくため、全国の製造拠点で随時、工場見学会を開催しています。見学会では生産現場を直接、御覧いただきながら、当社の品質管理の考え方や、当社が取り組んでいる具体的な手法についてご説明しています。



# 地域社会とともに

地域に貢献し続ける企業を目指します

各事業所では、地域に根ざし、ともに発展していくことを目的に、美化運動のほか地域の行事を通じた交流など様々な活動を展開しています。

## 地元小学校に出張授業

山口・平生事業所では、子どもたちを育む活動の一環として、地元の小学校の児童を対象に出張授業を実施しています。出張授業では、地域に根ざす当社がどのような活動をしているかを、わかりやすく子どもたちに説明し、住まいの中で木製品が重要な役割を果たしていることを学んでいただきました。



## 中学生社会体験学習に協力

教育の場では幅広い人間形成を行ううえで、校外の学習も欠かせません。敦賀事業所では、地域の中学校が主催する「社会体験学習」に協力し、毎年定期的に生徒を受け入れ、ものづくりのための安全管理や作業について学んでいただいているいます。



## 地域の活性化に寄与

山口県熊毛郡平生町では、重要な地域の行事として、毎年「ひらお十七夜まつり」や「ひらお産業まつり」が開催されています。山口・平生事業所では、このような地域行事に積極的に参画することで行事を盛り上げるとともに、地域の活性化に寄与しています。



## 地域美化活動に参加

各事業所では自発的な清掃活動に加え、地域の美化活動に参加しています。事業所の周辺や道路わきのごみの回収や除草などを行って景観の維持に努めています。昨年、敦賀事業所の周りに植えたシバザクラが、今年きれいに咲きました。



# 従業員とともに

安全で、働きやすい職場づくりに力を入れています

永大産業は従業員が安全に働く職場づくりを目指し、特に大きな機械設備を扱う事業所では、最高安全衛生委員会を通じて、社内事故の防止に努めているほか、大規模災害への備えに力を入れています。

## 防災のための組織づくり

当社の本社は「南海トラフ地震防災推進地域」内にあります。大規模な地震が発生し、津波が押し寄せる想定で実施した2015年3月の訓練では、情報の伝達と速やかな避難が行えるようにするために、防災のための組織づくりに力を入れました。



## 迅速な対応で事業を継続

各事業所では、人命を第一に考えた避難訓練を定期的に実施するとともに、万が一の場合でも迅速な対応で二次災害を防ぎ、事業を継続できるよう取り組んでいます。大阪事業所では事務所前に掲示板を設置し、従業員に対する安全管理への意識向上に力を入れています。



## 敦賀事業所に表彰状

敦賀事業所では長年にわたり危険物の安全管理と災害防止を積極的に推進したとして、2014年11月、敦賀美方危険物協会から表彰状を授与されました。



## マイエリア活動を展開

敦賀事業所では、より美しく、働きやすい職場づくりを目指す取り組みの一環として、各職場で3S(整理、整頓、清掃)活動の強化を競い合う「マイエリア活動」を展開しています。「マイエリア活動」では活動内容が一目でわかるよう、ベンチマークとして活動前の写真を掲示し、四半期ごとに改善に対する評価を行っています。



## コンプライアンス

### コンプライアンス(法令遵守)の強化に努めています

コンプライアンスとは「法令遵守」と訳され、法律を遵守することはもちろんのこと、社内の規程や企業倫理などの規範を守って行動することとされています。永大産業のコンプライアンスは、このような法律や社内規程などの遵守にとどまらず、当社で働くすべての人々が、より高い倫理観・価値観を共有することを目指しています。

### ○永大産業企業行動憲章

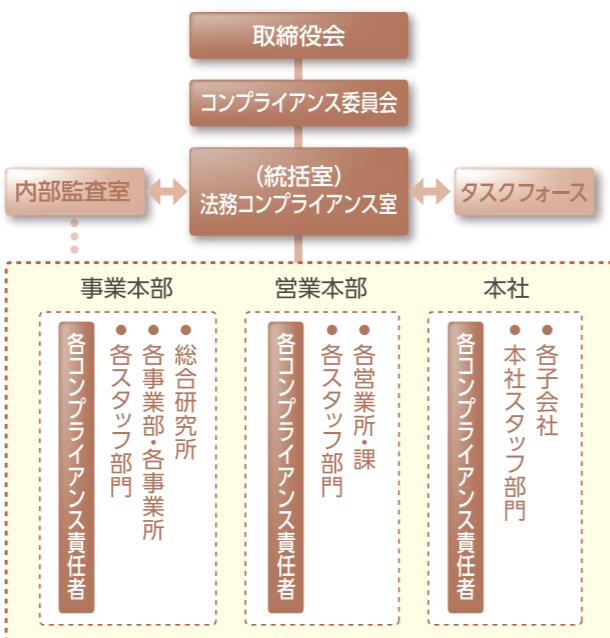
コンプライアンスの一環として、2004年9月に制定した「永大産業企業行動憲章」は、当社が事業活動を継続する中で最低限遵守すべき事項として、社内はもとより社外にも公表し、

企業の社会的責任としてコンプライアンスに対する考え方や姿勢を宣言しています。



### ○全社一丸となってコンプライアンス活動を推進します

全社一丸となってコンプライアンス活動を推進するために制定した「コンプライアンスマニュアル」には、役員及び従業員の役割のほか、組織体制やコンプライアンス意識高揚のための啓蒙活動についても定めており、「高い企業価値の創造」の実現を目指しています。コンプライアンス委員会は、横断的にコンプライアンスの具体的な計画などの重要事項について協議を行います。また法務コンプライアンス室は、統括室として教育、助言などの全社的な取り組みを進めています。また、日常の事業活動の中で起こり得る事例を集め、判断のよりどころとする事例集を全社員に配付するなど、身近なところでも、コンプライアンスへの理解を深める取り組みを行っています。タスクフォースは同室に対して、実務面から調査、報告、提案を行っています。



### ○内部統制システム構築の基本方針

内部統制システムの整備に関する基本的な考え方を「内部統制システム構築の基本方針」として、経営管理体制やリスク管理体制など10項目を定めています。

#### 内部統制システム構築の基本方針

1. 当社取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
2. 当社取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
3. 当社及び子会社の損失の危機の管理に関する規程その他の体制
4. 当社及び子会社の取締役の職務の執行が効率的に行われるることを確保するための体制
5. 当社及び子会社からなる企業集団における業務の適性を確保するための体制
6. 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項及び当該使用人の取締役から独立性と監査役からの指示の実効性の確保に関する体制
7. 当社及び子会社の取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制
8. 監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制
9. 監査役の職務について生ずる費用の処理に関する体制
10. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及び体制

# リスクマネジメント

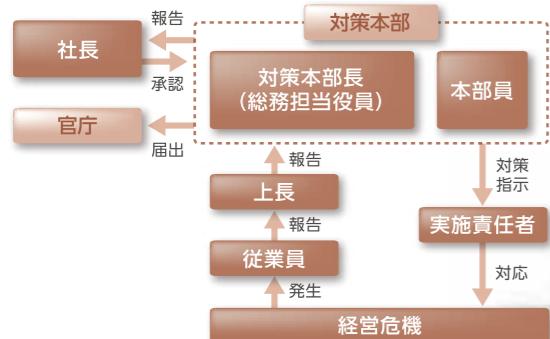
さまざまなリスクに対する危機管理体制の強化を図っています

## ● 経営危機管理

当社では、リスク管理意識の向上に取り組んでおり、経営危機発生の回避、リスクの未然の防止、経営危機発生時の損失の最小化を期すため、「経営危機管理規程」を定めて対応しています。

この規程ではすべての従業員は常に経営危機につながる事象の発生防止に努め、これらの発生に対し万全の注意を払わねばならないとしています。万一、経営危機が発生した際には、直ちに対策本部を設置して危機の解決もしくは回避のために全力を尽くすよう定めています。

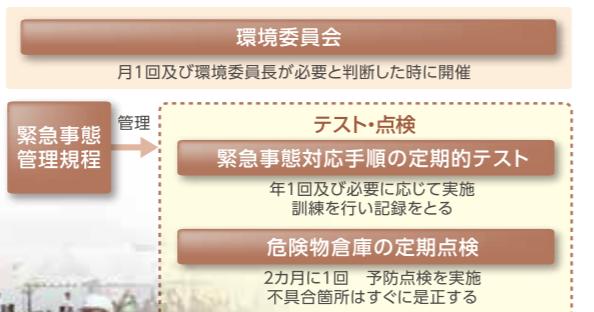
### ■ 経営危機管理体制



## ● 事業所におけるリスクマネジメント

環境マネジメントシステムに則り、緊急事態が発生または発生する恐れのある場合や、官公庁・地域住民等から緊急要請を受けた場合を想定し、事業所別に緊急事態の対応策を定めています。

各事業所では、この緊急事態管理規程に基づき、近隣に影響を及ぼすと予測される事態や、周囲に公害発生をもたらす可能性のある施設に対して、あらかじめそのリスクを抽出し、特定しています。これらのリスクを認識したうえで、事態発生の回避につとめるとともに、発生した場合の迅速な対応ができる体制をとっています。



## ● 個人情報保護

個人情報保護に関する法令を遵守し、個人情報を保護することは事業活動の基本であり、社会的責務です。当社では、安全管理に関する「個人情報保護基本規程」を制定し、基本方針に基づき、取得する個人情報（ウェブサイトから提供された個人情報を含みます）について、個人情報を取り扱う部門ごとに管理責任者を置き、適切な管理、監督に努めています。

また、個人情報の提供先との間において、秘密保持契約の締結等の方法により、お客様の個人情報を保護するための適切な管理を実施しています。さらに、お客様の個人情報への外部からの不正なアクセスや漏洩等を防止するために、セキュリティの維持・強化にも努めています。

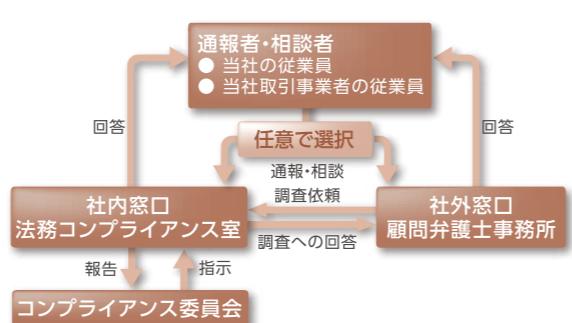
2016年1月から本格的な運用が始まる「マイナンバー制度」に対しては、「特定個人情報（マイナンバー関連）保護基本規程」を定めて情報管理の強化を図っています。

● ホームページの「プライバシーポリシー」に詳細を掲載しております。

## ● 内部通報者保護制度

「公益通報者保護法」を遵守するために定めた「内部通報者保護規程」のなかで、通報者・相談者は、会社の中で法令等に違反する行為が生じている、または生じようとしている場合に、社内窓口・社外窓口のどちらにでも通報・相談することができます。

なお、通報者・相談者が通報により不利益な扱いを受けない仕組みを構築しています。



# 公正な事業慣行

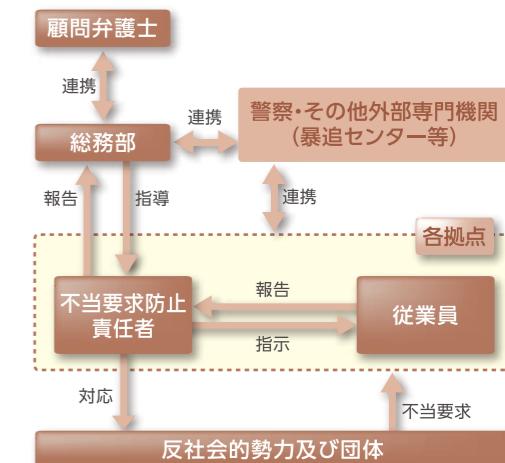
社会に対して倫理的な行動を取るための体制を構築しています

## ● 反社会的勢力及び団体に対して毅然とした態度で対応します

反社会的勢力及び団体に対しては毅然とした態度を貫き、断固として対決することが企業の社会的責任を全うするうえで必要不可欠です。そのため、従業員が反社会的勢力及び団体と関与しないように、服務規律として就業規則に明記するだけでなく、これらの団体と向き合うための基本方針や具体的な対応策についての詳細を「反社会的勢力排除マニュアル」に定めています。

### 「反社会的勢力排除マニュアル」基本原則概要

- 反社会的勢力からの不当要求に直接対処する従業員の安全を確保し、組織として対応する
- 反社会的勢力に備え、警察、その他外部専門機関との緊密な連携関係を構築する
- 反社会的勢力とは一切の関係をもたない
- 有事において民事と刑事の両面から法的対応を行う
- 反社会的勢力からの不当要求が、事業活動上の不祥事などを理由とする場合でも、事実を隠蔽するための裏取引は絶対に行わない
- 反社会的勢力への資金提供は、絶対に行わない



## ● 知的財産権で競争力を強化

財産権の保護ならびに活用を重視し、特に知的財産権については迅速に調査を行い、より多くの権利保有に力を入れています。また、新製品の発売にあたっては、他社の権利を侵害しないよう、事前に綿密な調査を実施しています。当社では他社に先駆けた権利の取得によって、競争力の強化に努めています。



## ● 発明などに適正な対価を補償

当社では保有する知的財産の管理、保護に力を入れています。発明、考案、創作に関する取り扱いを明確にし、適正な補償を行うことによって、意欲の向上を図っています。さらに具体的な判断基準を設け、発明、考案、創作の定義や補償の内容を明らかにしています。

